

ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

10月度理事会報告

好天に恵まれB.B.Q. ピクニック盛大に開催

サンマテオ・コヨーテ・ポイント・パークに於いて41名の参加のもと楽しい一日を過ごしました

ジャパングラブ10月度の理事会は10月6日(水)午後6時半から日米会々議室において9名の理事が出席して行なわれました。

1) 秋のBBQピクニックについて(報告)

9月26日(日)にサンマテオのコヨーテポイントパークで開かれたBBQピクニックは41名(内子供2名)が集まりすばらしい天候にも恵まれ盛大に開かれました。ご本人も「私は準会員です」と言われるほどジャパングラブの催しにたびたび参加していただいている小川康弘領事もジャパングラブの公式行事への参加は最後になるとの事で開会に先立ちご挨拶をいただきました。

2) 秋の講演会について

秋の講演会は、総領事館の市川俊治さんに講師を依頼して11月6日(土)午後1時よりジャパンセンター、ユニオンバンク社交室で開催する事に決定(下記案内参照)

3) 餅つき新年会について

明年2月13日に開催予定の「餅つき新年会」は当日のエンターテイメントについて話し合い、提示されたアイデアについて可能性を更に調べる事になりました。[註] 更に会員の皆さんも、新年会のエンターテイメント等いいアイデアやご希望がありましたら事務局又は事務所の方にご連絡ください、それによって理事会で検討し、折衝をいたします。

4) その他

新しくサンフランシスコ総領事に猪俣浩司さんが決まり着任されました。(2面に紹介記事があります)

また、今迄ジャパングラブと一番深い関わりを持っていただき、色々とお世話になりました小川康弘領事が10月15日付けで転任される事が決まりました、当地を離れるのは11月末との事です。本当にありがとうございました。

以上です、ご質問がありましたら事務局迄お問い合わせください
尚、11月の理事会は3日(水)に予定しております

事務局

B.B.Q. ピクニックを無事終わって

当日は最高の秋日和に恵まれ41名の参加者があり無事に終わる事が出来て準備者一同参加者並びに寄付者の方々に厚く御礼申し上げると同時に各自お持ち寄りのご飯類には有り難く感謝致します。

食事前のお遊びゲームはあまり多くプランし過ぎたとのご意見もありましたがやはりただBBQを食べるだけでは無く昔の子供心に帰ってワイワイして頂く様プラン致しました。

昔の運動会を思い出し綱引き、球投げ、パンク喰い競争、フラフープ、汽車ポッポ、それにゴルフの遊び。綱引きで砂の上に尻餅をついたとか手にすり傷がついた方が居られましたがまあそんなに一生懸命に力を入れなくても写真撮影の為全員に並んでほしかったつもりです。ただ見ているだけの楽しみだけではなく自分もゲームに出て見ている方をエンジョイさせてあげると言う心持が有り難いです。若し来年のゲーム並びに食事につきにご意見がありましたら今からお願いたします。

尚、次の方々からビール、ワインを始めテーブルを飾った花、おいしいデザート、現金そしてゲームの景品等沢山のご寄付をいただきました、ありがとうございました。

青柳(伸)、福光、後藤、北、大槻、大隅、下村、榎木、浦田(敬称略)その他おいしい食事を持ち寄ってくれた皆さん、ありがとうございました。

ピクニック担当 北副会長

身近な年金問題、老後の話題や疑問を気軽に話し合える

座談会方式 秋の講習会

11月6日(土曜)午後1時~3時

ジャパンセンター、ユニオンバンク社交室

会費:お茶とお菓子代としてお一人\$2.00

申し込み
用紙添付

? 日本で数年働いた
が年金はもらえるか

? 日本に帰国すれば健康
保険、介護保険は加入
できるのか

? 国籍を変更しても
日米の年金は受給
できるのか

? 日本で老後を過ごした
いがびザの取得、帰化
の手続きは

? こんな疑問をお持ちの方は
是非ご参加ください、同じ様な疑問を持っている人が大勢いま
す、きっとその疑問に答えが得られるでしょう



写真提供:浦田伸夫さん

猪俣弘司総領事着任

略歴

猪俣弘司 いのまたひろし

昭和29(1954)年3月9日生

昭和53(1978)年3月 早稲田大学法学部卒

4月 外務省入省

56(1981)年7月 外務省アジア局

58(1983)年9月 外務省経済協力局

61(1986)年1月 外務省北米局安全保障課

63(1988)年9月 在タイ王国日本国大使館 一等書記官

平成3(1991)年5月 在米日本国大使館 一等書記官

6(1994)年1月 外務省大臣官房総務課 首席事務官

7(1995)年7月 外務省条約局国際協定課長

9(1997)年7月 外務省北米局日米安全保障条約課長

10(1998)年9月 在連合王国日本大使館 参事官

13(2001)年3月 在韓国日本国大使館 公使

16(2004)年2月 内閣官房副長官補室 内閣参事官

18(2006)年8月 外務省大臣官房審議官(国際法局担当)

20(2008)年7月 外務省南部アジア部長

22(2010)年8月 在サンフランシスコ日本国総領事

猪俣弘司総領事にインタビュー



猪俣弘司新サンフランシスコ日本国総領事は9月23日に夫人共々当地に着任され、早々精力的に各方面への挨拶回り等をされておりすが当地の印象や日系社会等についての感想をお聞きしました。

「雨の日本を出発してサンフランシスコに到着した時は快晴で私達を歓迎してくれているようで非常に嬉しかったですよ、サンフランシスコにはワシントン勤務当時の1992年と95年の2度にわたって訪れており、すばらしい町だと好印象を持っていただけにここに赴任できた事は最高に光栄だと喜んでおります。

サンフランシスコは日本人移民がアメリカで最初に上陸した場所でもあり、第二次大戦後最初に日本政府の窓口が開設された地で、日本にとっては知名度の一番高い街です。その上長年に亘って日本人先駆者や日系の方達の大変な努力のおかげで日米関係も良好だと認識しております。

こうした良い関係を更に発展させるのが私の仕事で、出来る限り多くの人と会い、そして話し「ハートとハートのお付き合い」を重ねていきたいと思っています。

着任以来まだ日は浅いですが日系の方達がいろんな形で当地のアメリカの人たちと良好なお付き合いをしながら日本の伝統文化等の普及に努めておられる姿を拝見し、こんな役割をサポートするのも私の仕事だと肝に銘じております」と語られた後「気候も良いこんな場所に希望する事が出来るなら5年くらいは勤務したいです」と心情の一端を披露しておられました。

猪俣弘司総領事、1954年生まれの56歳、東京都出身、ご家族は既に結婚されている娘さんと社会人として独立されている長男とお二人のお子さんをお持ちですが、現在はご夫人との二人暮らし。趣味は音楽、ここでバンドでも編成できたらとの夢をお持ちです、またスポーツは何でも、中でも飛ばすだけが大好きとおっしゃるゴルフなど...
明るいお人柄が印象的でした。
福光哲史副会長 記

急告

猪俣総領事歓迎会

10月22日(金)午後6時よりホテルかぶきで開かれます、お一人 \$65 で申し込み締め切りは10月15日となっています。参加を希望される方は至急事務局(古田 650-341-7857迄お電話ください)

2

「タイランド滞在記」

今井 利和 (文と写真)

前回の「ヘルスチェック&バケーションinタイ」に続いて今井さんの経験から語られるタイの現状とショートステイとロングステイの事情を3回に分けて掲載します

次の日はリクレーション視察と言うことでゴルフ場でプレーする。ジョニーミラーのデザインしたコースに似ていて、フックを打つとほとんどが池に入ってしまう。フック系の弾道の球を打つ私には難コースだった。...余談だが、4つで足りると思って持って行った球がすぐに無くなり、慌てて9ホールが終わると球をプロショップで買い求めるはめに...

夕食はコック川でのリバークルーズ。所要時間は約2時間。二人の綺麗な若いお姉さんが花輪をかけてくれて記念撮影。けっしてきれいな川には見えない。濁っている川の上を鵜飼の船のようなボートでゆらゆら。船の上でチェンライの郷土料理が振る舞われる。が、わたしはあまり箸が進まず、蒸したもち米ばかりを頬張る。それより、狭いボートの上で胡坐をかいていたので、座り心地が悪く、速くツアーが終わってこれないかと願った。

翌朝、朝食後にメーサイ・ゴールドトラライアングルへの観光。昼食後にラオス国境にあるカジノへ。しかしここで予定変更の羽目に遭う。わたしがホテルにパスポートを置き忘れて来てしまったからである。川越しにラオスのカジノの建物を見た。ガイドさんの説明だとホテルやゴルフ場の建設が急ピッチでされているという。それらの多額な資金はロシアや中国から流れているらしい。どちらにしろ、アジアの途上国の発展を目のあたりにして実感できたが、貧困層のトタン屋根のバラックが川沿いに点々と存在するのも事実。そんなアンバランスな風景が印象的だった。

以上が今回のチェンライ、ショート、ロングステイ視察の概容だ。このあと、わたしはバンコクへ戻り、何時も通りのゴルフ三昧の一週間を過ごす事に。そして今回はSFジャバクラブ会員の赤川さん(UDDメンバーではない)とバンコクで合流した。

赤川さんは初めてのタイ旅行。デモで銃撃戦まで勃発した最悪の時期にバンコクへ到着した。迎えに来ていた旅行社の送迎係りに『ホテルの前まで車で送り着けるかどうかわかりません。ワーストシナリオの場合はゴルフバックを担いで30分程歩いてもらうかもと言われた』さぞ驚愕した事だろう。それでも無事に着いた赤川さん。

それから二人でヤジキタ道中が一週間続いた。わたしと約束したからだとはいえ、かなりのガッツの持ち主である。見た目は長身でおりとした顔立ちの紳士だが、日本男児と言うより侍を感じた。

我われは毎日ゴルフをしたあと、シャワーを浴びてゴルフ場のレストランでカラカラになった咽喉へ冷たいビールを流し込んだ。そのあとタイ式マッサージを受け、屋台のラーメンを食べる。一杯78セントである。ただアメリカ生活の長い我われには量が少ないのでお替り。結局2杯食べて\$1.64になるがそれでも安い。赤川さんはわたしと一緒に雑食の胃袋を持ち合わせているようだ。何を食べてもタイの料理は美味しいと言っていた。似たもの同士である。



コック川でのリバークルーズで出迎えてくれたタイ美人二人と私、船の上で振る舞われたチェンライの郷土料理(写真も今井利和さん提供)

次号に続く